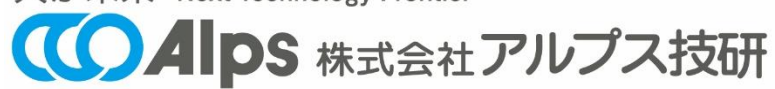


人が未来-Next Technology Frontier®



株式会社アルプス技研

2021 年 12 月期通期決算説明会

2022 年 2 月 10 日

イベント概要

[企業名]	株式会社アルプス技研
[企業 ID]	4641
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2021 年 12 月期通期決算説明会
[決算期]	2021 年度 通期
[日程]	2022 年 2 月 10 日
[ページ数]	37
[時間]	15:30 – 16:31 (合計：61 分、登壇：34 分、質疑応答：27 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	2 名 代表取締役社長 今村 篤 (以下、今村) 専務取締役 経営企画部長 渡邊 信之 (以下、渡邊)

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

登壇

司会：定刻となりましたので、ただいまから、株式会社アルプス技研様の決算説明会を開催いたします。今回の説明会は、昨今の状況を鑑み、無観客でライブ配信形式の Web 説明会とさせていただきます。

最初に、会社からお迎えしております 2 名の方をご紹介します。

代表取締役社長、今村篤様です。

今村：アルプス技研の今村でございます。よろしくお願いいたします。

司会：専務取締役経営企画部長、渡邊信之様です。

渡邊：渡邊です。よろしくお願いいたします。

司会：本日の進行は、今村様からご説明いただくことになっております。ご説明後、今回オンラインでご参加されている方からのご質問をお受けする予定です。

それでは、今村様、よろしくお願いいたします。

今村：改めまして、アルプス技研代表取締役社長の今村でございます。本日はご多忙の中、当社の説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日は、2021 年 12 月期通期実績とその要因、2022 年度の目標等についてお話しさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになりました方々やご遺族に対しまして、謹んでお悔やみ申し上げます。また、罹患された方とご家族、また様々な影響を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



■ 当社グループのコロナウイルス感染症対策について

当社グループは新型コロナウイルス感染症の再拡大に備え、在宅勤務、オフピーク通勤やTV会議、オンライン研修の活用など、お客様、従業員の安全に配慮し、事業の継続に向けて対策を推進しております。

1. お客様の要請に応じた感染症対策

- 1) お客様先の状況に応じた就業スタイルへ柔軟に対応
- 2) オンライン営業・商談の推進
- 3) 社員の感染が疑われる場合の迅速な対応（本人への状況確認や出勤停止等）

2. 当社グループの感染症対策

- 1) マスク着用、咳エチケット、手洗い・うがい、消毒液の利用を徹底
- 2) 自社ビル内のフロア往来自粛、食堂利用の原則禁止
- 3) オフィス内に飛沫防止用アクリルボード、ビニールシート等を設置

3. 勤務形態・業務の変更

- 1) 社員の在宅勤務、休暇取得の推進、オフピーク通勤の継続
- 2) イベント、懇親会、国内出張の自粛、海外出張の原則禁止
- 3) TV会議やスタジオを活用したオンライン研修と、オンライン採用の実施

4. 体調不良時の対応

- 1) 本人が発熱した場合の出勤禁止
- 2) 同居家族が発熱した場合の出勤自粛

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

1

新型コロナウイルス感染症対策について、当社グループの取り組みをご紹介します。

当社グループでは、感染症の拡大当初から対策本部を立ち上げ、感染状況を日々把握し、ご覧のような対策を推進してまいりました。

変異株による感染の拡大が続いておりますが、社内における感染対策はもちろんのこと、オンラインを活用した営業活動や採用活動を行い、感染防止に積極的に取り組んでおります。これらの対策は政府方針等を考慮し、流行の収束が見込まれるまで継続いたします。当社グループは今後も感染症拡大防止に向け、引き続き対応をしてまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ 目次

1	2021年12月期決算概況.....	P4
2	グループ会社のご紹介.....	P10
3	次世代を創る施策.....	P11
4	2022年度 業績予想.....	P15
5	2022年度 配当予想.....	P16
6	新中期経営計画.....	P17
7	サステナビリティ・ESG.....	P21

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

2

続きまして、こちらは本日説明させていただく内容でございます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



■ 外部環境

- ・ワクチン接種の加速等により、経済の回復が見込まれたものの、新たな変異株の影響により、スピードは鈍化

製造業界

輸出動向

- ・回復基調にあったが、部材供給の不安や感染再拡大によりペースは鈍化

業界動向

- ・半導体不足やサプライチェーンの混乱を受け生産部門に影響
- ・設計開発フェーズは研究開発投資の維持により堅調

人材業界

派遣要請

- ・需要は底堅く推移
- ・在宅形式の派遣は継続

人材獲得競争

- ・求人数は年後半にかけて回復し、12月には前年比12.2%増加。主に製造業(34.6%増)や情報通信業(20.4%増)で需要回復

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

3

まず、外部環境についてお話しさせていただきます。

ワクチン接種が促進される中、海外経済の改善もあり持ち直しの動きがあるものの、変異株による感染拡大の影響により行き先はまだ不透明な状況でございます。

製造業界輸出動向につきましてはおおむね回復基調にありますが、部材供給の不安や感染再拡大の影響を受け、回復ペースは鈍化いたしました。半導体業界の動向については、半導体不足やサプライチェーンの混乱により、生産部門に影響が生じました。

一方、企業の投資意欲は回復しており、設計開発フェーズは堅調に推移しております。派遣要請については、製造各社様の研究開発投資は維持しており、派遣要請は底堅く推移しております。

人材獲得競争におきましては、2021年度の求人数は昨年後半にかけて回復し、12月には前年比12.2%増と、業種別に見ると製造業は34.6%、情報通信業では20.4%と大きく増加しております。

また、コロナをきっかけに自身のスキルを見直す人も多く、転職市場も活発化しており、人材獲得競争は激化しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 2021年12月期 概要 -1-

- ・連結 営業利益の回復により最終利益は過去最高を更新
- ・個別 稼働率の回復に合わせて業績も回復

(単位：百万円)

【連結】	2020年12月期	2021年12月期	増減率
売上高	35,753	39,261	9.8%
営業利益	3,640	3,875	6.5%
経常利益	4,595	4,574	△0.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,057	3,095	1.2%

【個別】	2020年12月期	2021年12月期	増減率
売上高	29,630	30,902	4.3%
営業利益	3,312	3,416	3.1%
経常利益	4,172	4,142	△0.7%
当期純利益	2,838	2,868	1.0%

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

4

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



■ 2021年12月期 概要 -2-

- ・売上高は前年同期比9.8%増
- ・当期純利益は前年同期比1.2%増

【連結】	2020年12月期	2021年12月期	増減率
売上高	35,753	39,261	9.8%
売上原価	27,289	30,322	11.1%
売上総利益	8,464	8,939	5.6%
販管費	4,823	5,063	5.0%
売上高販管費率	13.49%	12.90%	△ 0.6%
営業利益	3,640	3,875	6.5%
売上高営業利益率	10.18%	9.87%	△ 0.3%
営業外収益	1,023	957	△ 6.5%
営業外費用	67	258	280.5%
経常利益	4,595	4,574	△ 0.5%
特別利益	100	0	△ 99.8%
特別損失	109	57	△ 47.6%
税引前当期純利益	4,586	4,517	△ 1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,057	3,095	1.2%
売上高当期純利益率	8.55%	7.88%	△ 0.67%

(単位:百万円)

売上原価

- ・技術者数の増加
- ・雇調金を雇用維持のために技術者へ還元

営業利益

- ・稼働率の回復

当期純利益

- ・営業利益のプラス
- ・雇調金が営業外収益に加算

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

5

続いて、数字に関しましてはご覧の記載のとおりでございます。

売上につきましては稼働率、稼働人数、工数が前年を上回り、前年同期比 9.8%増の 392 億 6,100 万円となりました。

売上原価につきましては、売上増の要因でもあります技術者数の増加と、営業外収益に入りました雇用調整助成金を活用し社員の処遇を守ったため、前年比 11.1%増の 303 億 2,200 万円となりました。

営業利益につきましては、稼働率が回復したことを受け、前年比 6.5%増の 38 億 7,500 万円となりました。

当期純利益につきましては、先に申し上げた営業利益の増加、社員の雇用維持を目的とした雇用調整助成金の収入が加わったことから、前年比 1.2%増の 30 億 9,500 万円となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ 2021年12月期 概要 -3-

・稼働工数、契約単価ともにコロナ以前と同水準へ



※契約単価…顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」とは異なり、残業代を含まない。
 ※稼働工数…技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

6

当社の業績に大きく影響する KPI の推移についてご説明いたします。

技術者数は、オンライン面接やリファラル採用など積極的な採用活動を実施した結果、前年比 72 名増となりました。稼働人数は着実に回復した稼働率に支えられ、前年比 151 名増となりました。

次に稼働工数は、感染症拡大による混乱が落ち着き、テレワークなどの体制が整ったこともあり、前年比 2.2 時間増となりました。

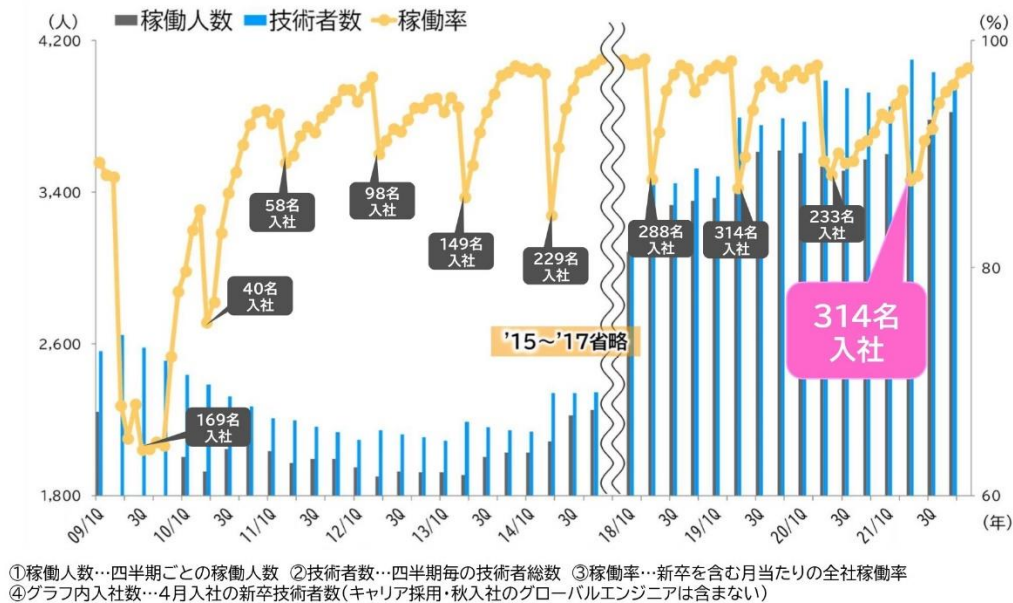
契約単価につきましては一部の若手社員に対し、経験を積むため製造研修を実施したことにより、4,000 円を超える水準ではありますが、前年比 45 円減となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 2021年12月期 概要 -4-

- ・人材の質をさらに重視した採用を継続
- ・稼働率はコロナ以前の水準近くまで回復



7

続いて、こちらのグラフ、折れ線グラフは稼働率を示しております。

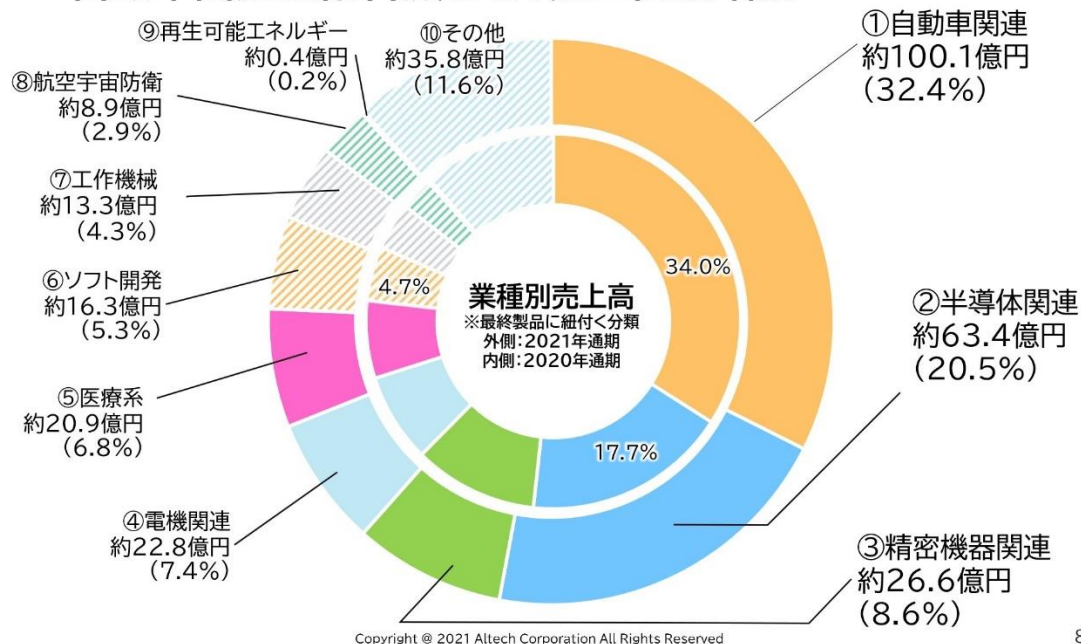
稼働率はワクチン接種の進展による経済の回復基調に合わせ、着実に回復しております。第2クォーターのところで一旦下がっている点は、新卒社員、新入社員が入社したタイミングでございます。その立ち上がりの角度が鋭いほど、早期稼働が実現している内容になります。20年はその角度が緩やかに推移しましたが、21年は回復基調で鋭くなっているのがご覧いただけるかと思います。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ 2021年12月期 概要 -5-

- ・半導体関連やソフト開発関連が好調
- ・自動車関連は割合減るも、売上高は増加



8

次に、こちらは売上に占める業種別のシェアを表したグラフです。内側が2020年通期、外側が2021年通期の実績を示しております。

自動車関連がシェアトップであることには変わりはありませんが、比率は減少いたしました。

一方で、半導体関連は、5Gや急速に進んだ働き方改革の影響によるネットワーク関連の需要拡大を受け、当社としてもシェアを拡大しました。

引き続き成長が見込める市場を見極め、柔軟にシフトできる体制を維持してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 2021年12月期 概要 -6-

・売上上位10社

2019年度 通期	2020年度 通期	2021年度 通期
三菱電機	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
キオクシア	三菱電機	キオクシア
東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ	キオクシア	三菱電機
アイシン・エイ・ダブリュ	東京エレクトロン宮城	東京エレクトロン宮城
日立オートモティブシステムズ	ソニーセミコンダクタ	ニコン
ソニーセミコンダクタ	ニコン	ソニーセミコンダクタ
東京エレクトロン宮城	ソニーLSIデザイン	東芝エネルギーシステムズ
キャノン	デンソーテン	日立Astemo
本田技術研究所	東芝エネルギーシステムズ	デンソーテン
デンソーテン	三菱重工業	日立ハイテク
上位10社比率 19.6%	上位10社比率 18.2%	上位10社比率 21.6%

IoT/5G等の需要増加により半導体関連ニーズが堅調

※東芝グループの表記・・・東芝メモリ様は2019年通期以降、「キオクシア」様と表示

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

9

こちらは、当社の売上高順位の上位 10 社でございます。

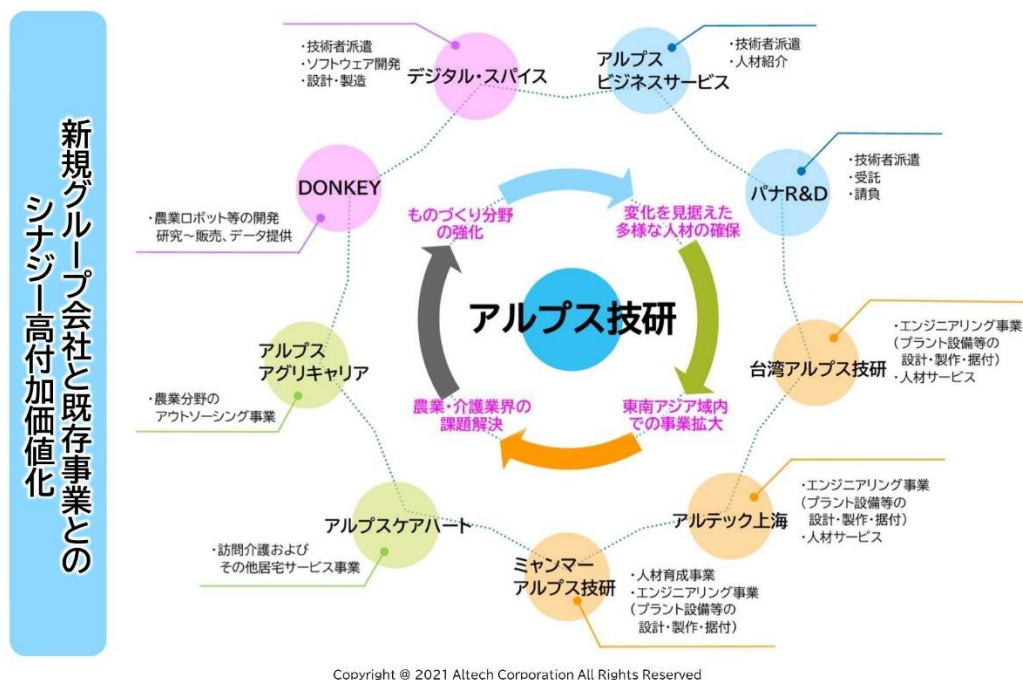
特定企業への依存リスクを低減させるべく、上位 10 社の比率を 20%前後と設定し、顧客構成の裾野を年々拡大しております。リーマン・ショックのような事態になっても、1社依存による業績低迷は避けられるよう、引き続き対策を進めてまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ グループ会社・関連会社のご紹介ー連携図ー

・新たなグループ体制(くもの巣型ネットワーク組織)



10

こちらは、当社グループの体制を示したものでございます。

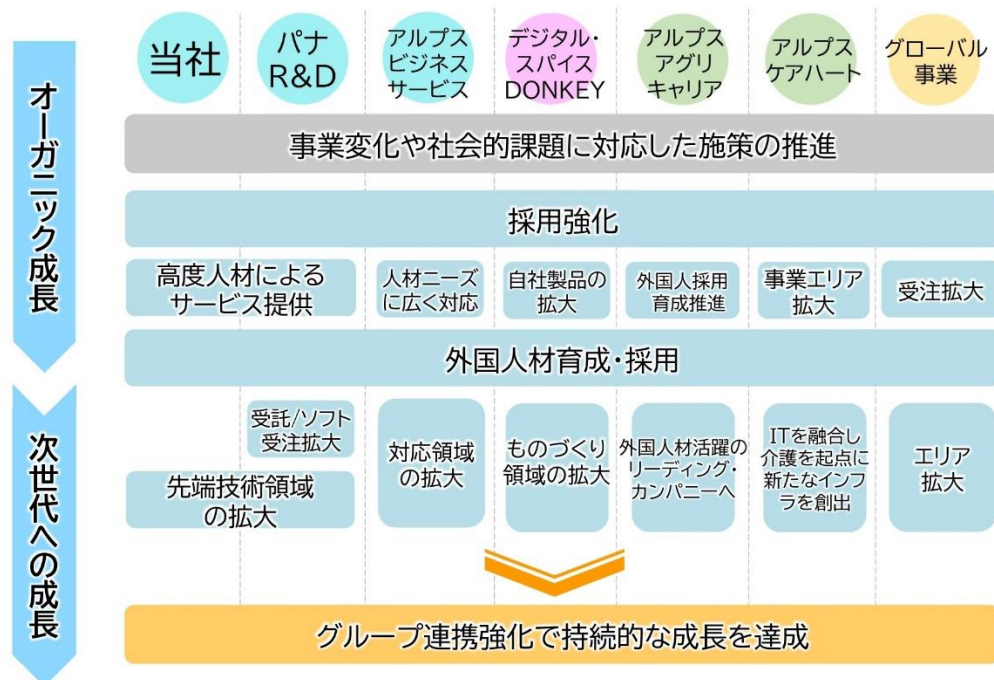
2021年7月1日に設立した株式会社アルプスケアハートは、2021年10月1日から事業を開始。順調なスタートを切っております。また、先日2月1日にお知らせしたとおり、当社の関連会社であった株式会社DONKEYの株式を取得し、連結子会社といたしました。

今後は、株式会社アルプスアグリキャリアの人材サービスと、株式会社DONKEYのロボットによる技術サービスを融合し、サステナブルな農業の実現に向けてサービスを提供してまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ 次世代を創る施策



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

11

こちらは、当社グループの次世代を創る施策についてご紹介いたします。

これまで進めてきた、本業の技術者派遣を通じたオーガニックな成長を継続いたします。さらに、先端技術領域の教育と営業を強化し、高成長が期待できる分野へのシフトを進めてまいります。

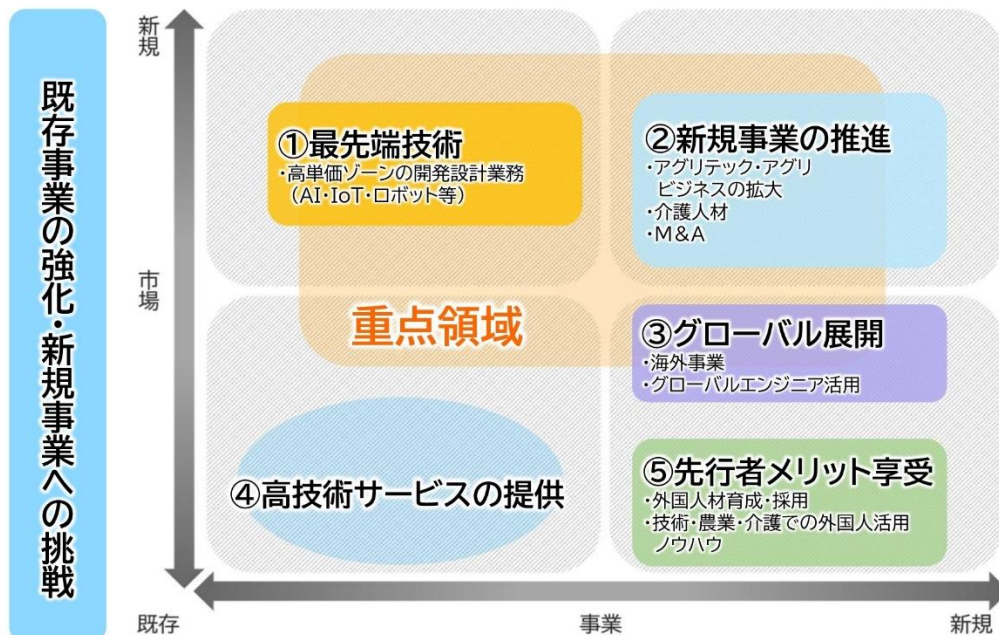
また、新たに DONKEY、デジタル・スパイス、アルプスケアハートが加わったことにより、宇宙、医療分野や農業、介護分野など新規事業領域への拡大を図ってまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 次世代を創る施策

・中長期成長ビジョン



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

12

こちらは、当社が積極的に取り組んでいる事業領域を中長期成長ビジョンとして、マトリクスで紹介いたします。

既存事業のほか、教育プログラムを活用し、技術者一人一人のスキル向上に取り組んでおります。最先端技術を身につけた技術者による AI、IoT、ロボット等の高単価ゾーンへの拡充を目指してまいります。

新規事業ではアルプスアグリキャリア、DONKEY を中心としたアグリテック、アグリビジネスの拡大と、アルプスケアハート設立による介護事業の拡大を図ってまいります。

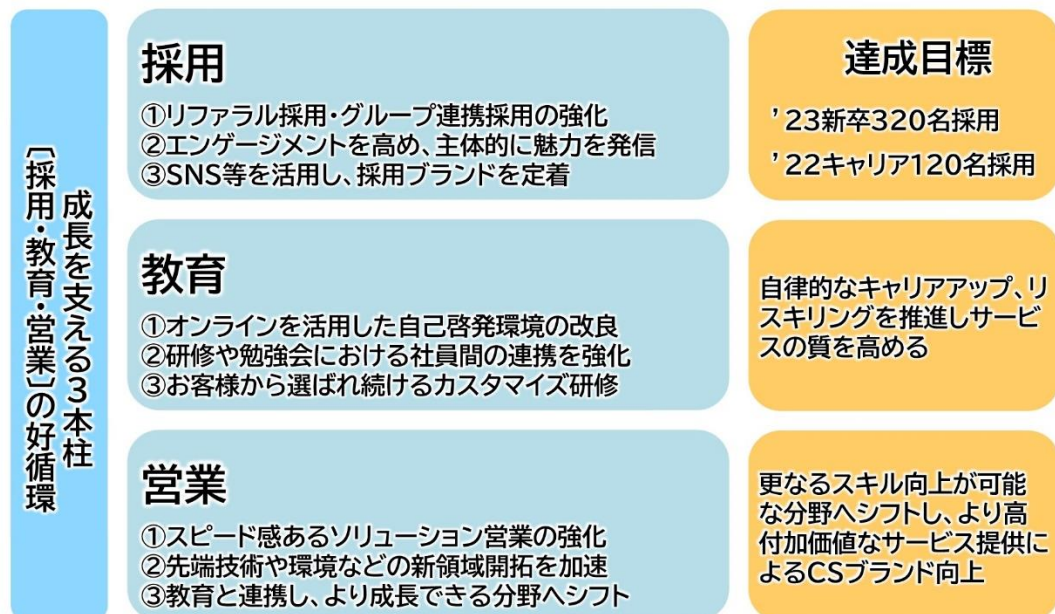
グローバル展開については、海外の既存事業のほか、アフターコロナにおけるグローバル人材の活躍を見据え、現地で教育活動に注力してまいります。技術だけでなく農業、介護分野など、先駆的に外国人材育成、採用に取り組んでおり、この領域において先行者メリットを享受できると考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 次世代を創る施策

・2022年度個別施策



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

13

続いて、こちらは個別の施策になります。

求職者への接点につきましては、リファラル採用やオンライン採用を継続し、グループ間での連携を強化し、将来を担う人材を確保してまいります。今年も4月に新入社員が入ってきますが、目標の300名を超える予定でございます。よって、来年は目標320名と増員をしたいと考えております。

キャリア採用については、同じく120名の採用を予定しております。引き続きオンラインを活用した研修を継続し、研修や勉強会を通じて社員間の連携をさらに強化してまいります。

また、技術者一人一人の自律的なキャリアアップ、リスキリングを推進し、サービスの質を高めてまいります。加えまして、技術者がより成長できる就業機会を創出するため、さらなるスキル向上が可能な分野へシフトし、より高付加価値なサービス提供によるCSブランドの向上を図ってまいります。

社会、技術の革新は一層激しく、さらにスピードは加速すると考えております。全役職員がスピード感を持って取り組み、最高業績に挑戦してまいります。

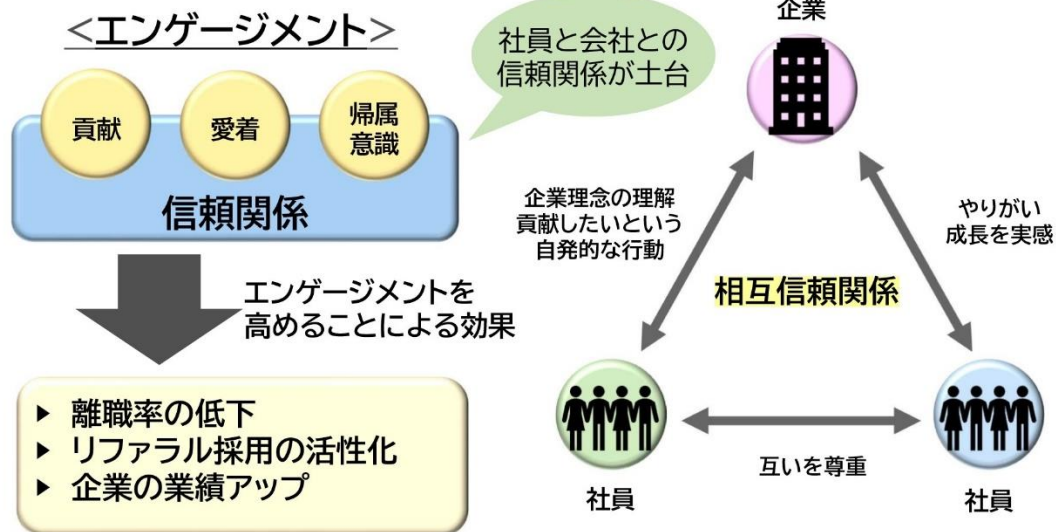
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ 次世代を創る施策-エンゲージメント向上の取組み-

エンゲージメント ≠ 従業員満足度

⇒ 経営理念やビジョンに共感し、貢献したいと思い自発的に行動する
⇒ お互いに尊敬・信頼・感謝し合い、企業と社員が歩み寄ることで高める



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

14

次に、次世代を作る施策として、エンゲージメント向上の取り組みについて、当社としてしていることをご紹介します。

先ほどの施策を実現するためにも、この VUCA の時代に、今、社員が一つになることが大切だと考えております。グループ全社員が一丸となることで未来を共創することができると考えています。当社ではチームアルプスというグループビジョンを掲げておりますが、いま一度、経営理念に立ち返り、グループビジョンや社是、スローガンへの共感を高め、力を合わせていくことが必要です。

そのためにもエンゲージメントを高めることが重要であり、社員一人一人が自ら発想し、行動することができるよう取り組んでいく所存です。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ 2022年度業績予想

連結：最高業績更新へ
稼働率の回復により営業利益の改善を見込む

(単位:百万円)

【連結】	実績			業績予想	
	2021年度通期			2022年度通期	
	2021年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	40,000	39,261	98.2%	42,500	8.2%
営業利益	4,000	3,875	96.9%	4,550	17.4%
経常利益	4,400	4,574	104.0%	4,590	0.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,060	3,095	101.1%	3,120	0.8%

【個別】	実績			業績予想	
	2021年度通期			2022年度通期	
	2021年12月期 公表値(通期)	実績	公表比	金額	前期比
売上高	31,600	30,902	97.8%	32,700	5.8%
営業利益	3,500	3,416	97.6%	3,900	14.2%
経常利益	4,100	4,142	101.0%	4,170	0.7%
当期純利益	2,850	2,868	100.6%	2,880	0.4%

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

15

続きまして、2022年度業績予想を公表させていただきました。稼働率の回復による営業利益の改善を見込んでおります。

ご覧のように、昨年からも営業利益は大きく増加をしております。最高業績となる連結売上高 425 億円の達成を目指します。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

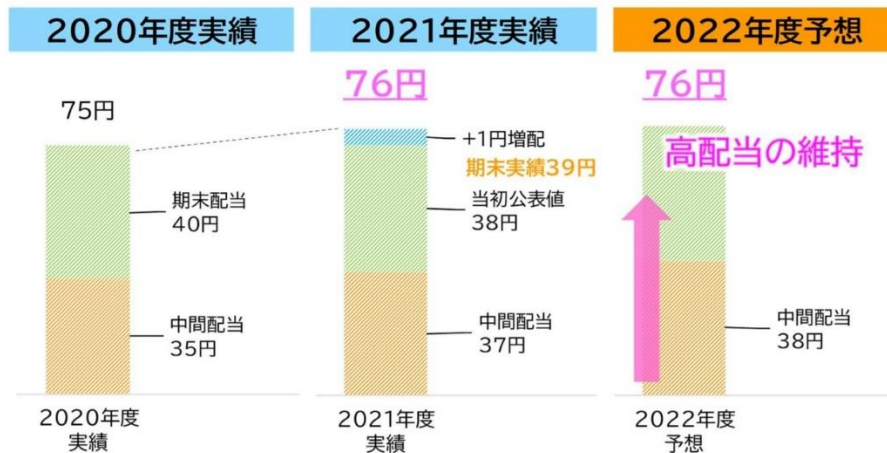


■ 2022年度配当予想

・配当予想（2022年度年間配当金）

配当の基本方針

- ・連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- ・中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- ・業績にかかわらず年間配当10円を維持する（安定配当の見地）



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

16

続きまして、その結果から、2021 年度末配当金は 38 円と予想しておりました。連結決算数値が予想を上回ったため、1 円増配し、39 円といたしました。

当社は毎年ご覧のように高配当を維持しており、2022 年度の配当予想につきましても高配当の 76 円を予想しておりますが、さらなる増配に向け、グループ全社員が一丸となって取り組んでまいります。

配当方針、連結ベースでの配当性向 50%を基本としております。また、中間配当は年間配当の 50%を目処としております。さらに、業績にかかわらず年間配当 10 円を維持する、安定配当の見地より、この基本方針のもと、株主様に還元していきたいと考えております。

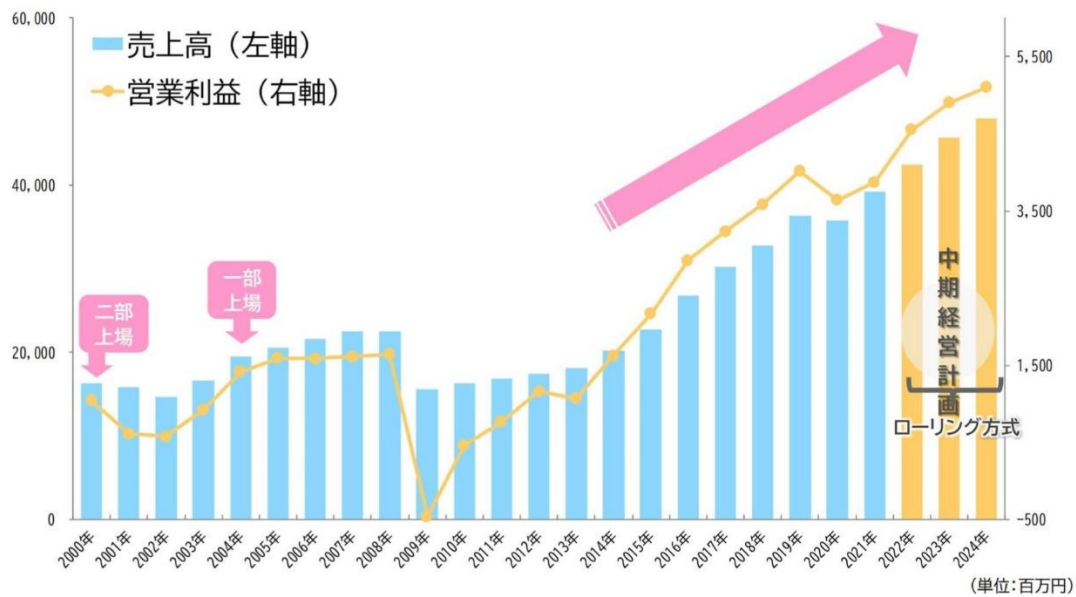
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 新中期経営計画 -1-

・業績推移

2022年度目標売上高:425億円



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

17

続いて、中期経営計画についてご説明いたします。

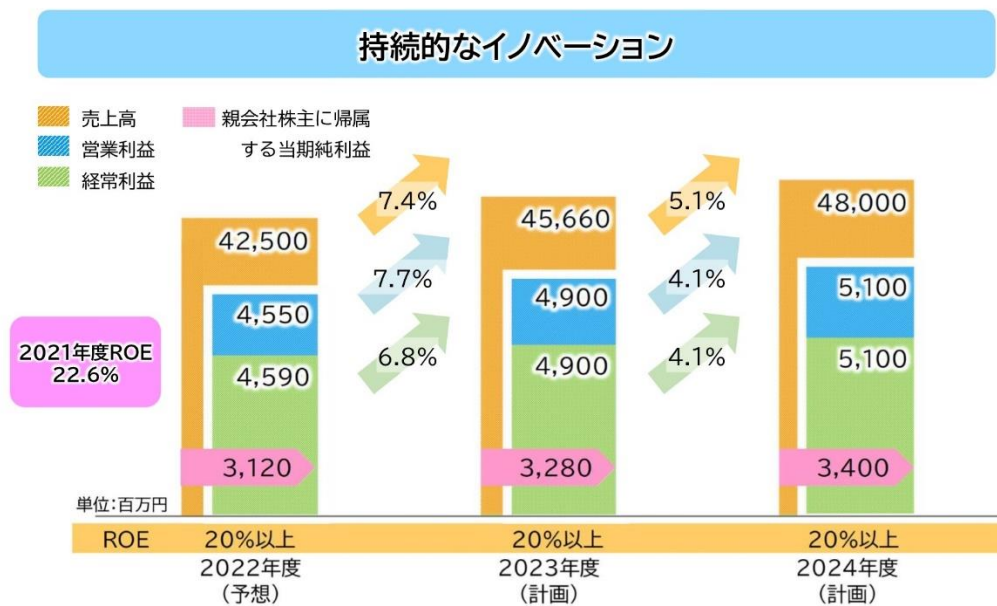
当社グループは、ご覧のように、リーマン・ショック後、業績がV字回復し、右肩上がりに持続的な成長を達成してまいりました。2021年は新型コロナウイルス感染症の影響が想定よりも長引いたものの、下期には稼働率も改善し、前年を上回る売上を達成いたしました。2022年も引き続き、目標にしっかりとキャッチアップしてまいります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 新中期経営計画 -2-

・3カ年ごとのローリングプランを策定



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

18

さらに、当社は3年ごとに毎年見直しをかけているローリングプランを策定しております。2023年は、連結において450億円を超える業績を目指します。

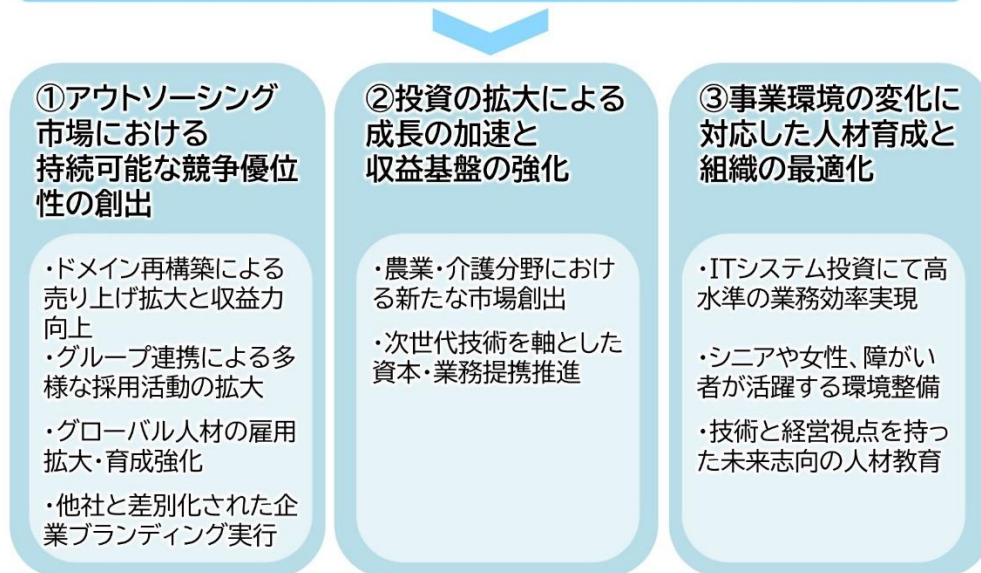
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 新中期経営計画 -3-

・第11次5カ年計画(2023年までにありたい姿)

定性目標:新産業革命時代に向けた経営資源の再投資



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

19

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

■ 新中期経営計画 -3-

・第11次5カ年計画(2023年までにありたい姿)

定性目標:新産業革命時代に向けた経営資源の再投資



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

20

続きまして、5年ごとに定めております中期経営計画についてご説明いたします。

こちらは、2019年から2023年の定性目標として定めました。第11次5カ年計画は、新産業革命時代に向けた経営資源の再投資を掲げて推進しております。

当社は1968年に創業してから、5年ごとにこの5カ年計画を推進してまいりました。来年55周年を迎えますが、第11次としてしっかり結果を残していきたいと考えております。その内容についてご説明させていただきます。

現在進めている5カ年計画の一つ目の柱となります、アウトソーシング市場における持続可能な競争優位性の創出におきましては、グループ連携の強化やドメインの再構築を重ね、売上高は2018年比20%増加いたしました。

また、これまで外国籍人材は技術系人材のみを採用していましたが、2018年からはアグリ、アグリテック人材についても採用を開始し、雇用を拡大しており、グローバル人材は2021年12月末時点で14カ国、約440名が在籍しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

グループの全社員数も着実に増加し、2018 年度比 21%増となりました。引き続き採用強化、退職抑制を進めてまいります。

次に、二つ目の柱であります、投資の拡大による成長の加速と収益基盤の強化につきましては、2018 年のアグリ&ケア設立。現在のアルプスアグリキャリアを始め、農業関係、農業ロボットの DONKEY を設立。また、ものづくり事業を進めるため、デジタル・スパイスを子会社化しました。さらに、アルプスケアハートを設立し、農業、介護分野へ、新たな市場への参入を図ってまいります。

3 本目の柱となります、事業環境の変化に対応した人材育成と組織の最適化につきましては、2018 年には、高まる先端技術要素に応えるべく社内プロジェクトを組成し、専門の研修等に取り組んでおります。

また、社内にスタジオを整備し、各種動画の撮影、リアルタイムでの全国規模の研修など、このコロナ禍でも、採用、教育、営業の各場面で活用しております。

さらに、当社は ESG の推進活動にも注力しており、その一環としてジェンダー平等にも関係する、女性活躍推進に取り組んでおります。

当社では、2026 年 3 月 31 日までに管理職に占める女性の割合を 6%とする、を目標としており、2022 年 2 月時点でその割合は 4.6%。2018 年度と比較しますと 0.8%上昇いたしました。引き続き研修、または実践教育を含め、女性の活躍の場を広げていきたいと考えております。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



■ サステナビリティ・ESGの取り組み



ALPS×SDGs:SDGs推進企業として外務省HPに掲載

【社会変化への対応】

製造業のパートナー企業として、技術開発をはじめとしたサービスにより、社会・経済発展の一翼を担い、豊かな社会づくりに貢献し続けるため、社会変化にボーダレスで対応する企業のあり方を探索し続けていきます。



【社会的課題の解決】

技術分野の他、農業・介護分野においても国内外から多様な人材を採用し、外国籍人材の派遣をはじめとして、先進的な人材ニーズへの取り組みにより、日本の地域社会および海外諸国の発展に貢献していきます。



【環境・資源対策】

「地球環境の保全は全人類の最も重要な課題のひとつ」であることを認識し、率先して環境への負荷を低減する行動を行い、地球環境の保全と資源の保護に貢献していきます。



【健康経営】

従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが、企業の発展に繋がると考えています。会社と従業員とその家族が一体となり、健康づくりを推進しています。また、社会貢献活動を通じ、地域社会の健康づくりに貢献していきます。



【人材育成】

技術・農業・介護の現場では、適切なタイミングで専門技術を有する人材を確保することが重要となっています。お客様のニーズにお応えするため、高度技術だけでなく、ヒューマンスキルの向上にも重点を置いた社員教育体制を整備しています。



【倫理観・コンプライアンス】

「アルプス技研企業倫理憲章」をはじめとする「行動規範大綱」を制定し、企業理念、コンプライアンス等の様々な分野において役員および社員が守るべきルールを定め、定期的な教育等を通じて、リスクの低減と競争力の強化を図っています。



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

21

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



■ サステナビリティ・ESGの取り組み

・2021年11月11日、基本方針制定、委員会設置

【サステナビリティ基本方針】

私たちアルプス技研グループは、経営理念「Heart to Heart」に基づき、人と人との心の繋がりを大切に、事業活動を通じて、持続可能な「環境」「社会」の実現と、持続的な企業価値の向上を目指します。

1. 高度で多様な技術サービスの提供により地球環境の保全に取り組みます
2. 経営資源である人材と技術力を活かし様々な社会課題の解決に取り組みます
3. 良き企業市民としてステークホルダーと協力し社会貢献活動に取り組みます

【サステナビリティ委員会の役割】



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

22

サステナビリティ、ESG の取り組みとしまして、最後に当社グループの取り組みをご紹介します。

当社は SDGs 推進企業として、外務省ホームページに掲載されております。また、当社ホームページには詳細な取り組みを掲載しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

こちらには六つの項目について記載をさせていただいております。また、サステナビリティ・ESG の取り組みを一層強化するため、2021 年 11 月 11 日にサステナビリティ基本方針を制定いたしました。

方針に基づき、具体的な企画、実行、管理の統括を行うサステナビリティ委員会を新たに設置し、個別の具体的な検討を行っております。こちらにつきましても、詳細についてはまた後日、開示をさせていただきたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

■ サステナビリティ・ESGの取り組み

企業版ふるさと納税：北海道大樹町

「大樹発！航空宇宙関連産業集積による地域創生推進計画」へ寄附を実施

【概要】

事業内容

- 1) 航空公園機能拡充事業
- 2) 航空宇宙関連ビジネス推進事業

事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

地方
創生

【寄附に至る背景】

創業者松井による十勝での長年の起業家支援活動



宇宙のまちづくりの取組みにポテンシャルの高さを強く実感



航空宇宙事業は当社が注力している分野であり、地方創生や持続可能な社会の更なる実現を目指し、大樹町が進める事業の発展を支援する目的で実施

大樹町公式ホームページ



▶大樹町ホームページ

<https://www.town.taiki.hokkaido.jp/>

Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

23

続きまして、サステナビリティ・ESGの取り組みとして、企業版ふるさと納税を実施いたしました。

当社の創業者であります松井は、長年、次世代の経営活動を担う夢と志を持った若手の輩出や産業振興を手助けしたいという思いから、北海道の十勝での起業家支援活動に取り組んでまいりました。また、当社グループは新たな事業分野への取り組みを強化しており、先にご説明しましたとおり、デジタル・スパイスをグループに加えたことにより、航空宇宙関連事業に注力しております。

こうした背景のもと、企業版ふるさと納税を活用し、北海道大樹町の大樹発！航空宇宙関連産業集積による地域創生推進計画の取り組みに対し、本事業の発展を応援するため、昨年末に寄付を行いました。私も実際に大樹町に行ってその取り組みを見てきて、ある意味、本当に宇宙産業が動き出したなと感じた次第でございます。

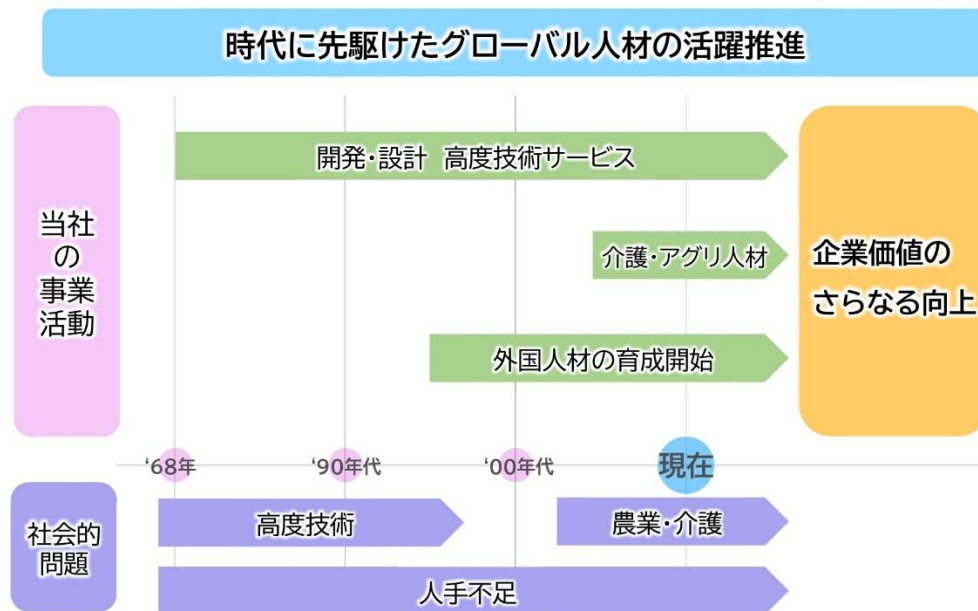
サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



■ サステナビリティ・ESGの取り組み

ESG:事業活動を通じた社会的課題の解決



Copyright © 2021 Altech Corporation All Rights Reserved

24

サステナビリティ・ESGの取り組みとして、当社は創業当時より、1968年に創業になり、ちょうど日本の高度成長期でもありますそのときに、産業の力になることで、技術の進歩による技術者不足という社会的課題に対しまして、高度技術者の育成、そして技術者のサービス提供をすることで貢献してまいりました。

また、現在日本が直面する少子高齢化による技術、農業、介護分野の労働力不足という社会的課題に対し、90年代から、いち早く外国籍人材に着目し、積極的に人材育成や採用を推進しております。これからも事業活動の推進を通じて社会的課題の解決に貢献し、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

最後に、当社のサステナビリティに関する取り組みをまとめた動画をご覧ください。

映像：人と技術で持続可能な社会をつくるアルプス技研グループ。

私たちアルプス技研グループは、いつの時代も、人と技術で暮らしの豊かさを支えてきました。

始まりは、家電製品が普及し、インフラが急速に発展した高度経済成長期。1968年、アルプス技研は小さな設計事務所として誕生し、技術をサービスとして提供する事業をスタートしました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

その後、通信、半導体やコンピュータの普及を経て、時代は高度な技術が必要とするスマート社会へ向かっています。

いつの時代も私たちは最先端の技術を提供し、ものづくりを通して人々の暮らしの向上に貢献しています。

また、技術力だけでなく、相手への真の思いやりで信頼関係を築く人間力こそ、ものづくりに必要な力だと私たちは信じています。

そして、その信念を経営理念「Heart to Heart」に込め、事業活動や人材育成の柱としています。

この理念がダイバーシティ経営を後押しし、多様な仲間やお客様と共に新たな価値を生み出す、価値共創パートナーという私たちの事業スタイルを確立しました。

気候変動や少子化など地球規模の課題への取り組みが進む今、私たちは持続可能な社会のための価値共創パートナーとして様々な分野で事業を進めています。

アルプス技研グループは、これからも社会や企業とともに新たな価値を生み出し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

人と技術で持続可能な社会をつくる、アルプス技研グループ。

今村：ご視聴いただきまして、ありがとうございました。

アルプス技研グループは、引き続き積極的に株主還元の充実を図ってまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

司会：ご説明ありがとうございました。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

質疑応答

司会 [Q]：それでは、オンラインでご参加された皆様からの質疑応答に移りたいと思います。

多くのご質問をお受けしております、ありがとうございます。複数の方から寄せられたご質問をご紹介しますので、司会がご質問を代読させていただきます。

一つ目のご質問です。

コロナ禍の業績への影響についてご教示ください。

今村 [A]：ご質問ありがとうございます。

では、スライドの5ページをご覧ください。ご覧のように、2020年と比較いたしますと着実に回復することができました。

稼働率につきましては、コロナ禍前の最高水準は2019年12月が97.4%でしたが、2021年12月、昨年末の12月に97.6%まで足元で回復してきております。このことが営業利益の改善につながっていると考えております。

また、グループ各社におきましても前年を上回ってきておりますので、着実にこれが結果に出たのではないかと考えてます。

よって、昨日、22年度からの中期経営計画、ローリングプランを開始させていただきました。本日の資料の18ページにあります3年ごとのローリングプラン、毎年3年先を見据えたローリングプランを出させていただいております。引き続き、感染防止、そして各国のインフレ対策、また地政学リスク、さらには原材料価格の高騰、また気になるサプライチェーンの状況、そういったものをしっかり注視し、先手を打った営業活動を推進してまいりたいと考えております。

以上でございます。

司会 [Q]：ありがとうございました。二つ目のご質問です。

コロナ禍の採用への影響についてご教示ください。

今村 [A]：ご質問ありがとうございます。

では、資料7ページをご覧ください。ご覧のように、このグラフのところどころに入っている入社という人数は、新入社員の入社的人数でございます。昨年は314名が入社となっております。当

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



社、コロナが出てきてからいち早くオンライン選考による採用を推進してきました。その結果、着実に目標どおりの新入社員を確保できてきております。

一方、キャリア採用につきましては、ワクチン接種が進んだことも昨年ありまして、メーカーも採用意欲が回復してきております。さらに、同業も採用を強化しています。その中、キャリア採用については、当社としても即戦力を意識した採用をしていたために本当に苦戦したというか、競争が激化しているのを感じた次第でございます。ここは、当社としては引き続き優秀な人材獲得ということについては、先ほど紹介しました、社員のエンゲージメントを高めたりファナル採用の強化、また、グループ連携による採用を積極的に進めていく予定でございます。

以上でございます。

司会 [Q]：ありがとうございました。次の質問に移りたいと思います。

業種別売上分類の変化についてご教示ください。

今村 [A]：それでは、スライドの 8 ページをご覧ください。こちらにありますように、ここ数年は自動車が 40% のシェアで推移してきましたが、5G とかテレワークの進展、生活環境の変化などを背景に、好調な半導体やソフト開発と、感染対策などに伴う医療関係の需要拡大を背景に自動車のシェアは減少しました。

昨年、一昨年前から比べても 1.6% ほど、シェアとしては減ってはいるんですが、この自動車分野の売上額、売上高につきましては前年比で増加しております。

この水色の部分の半導体関連につきましては、やはり半導体そのもののメーカー様のみならず、半導体を製造する製造装置のお客様の需要も拡大しておりまして、こちらのシェアが伸びてきたという実態でございます。

シェアの変化を当社の中でしておりますが、このシェアの変化は当社の強みでもありまして、好調な分野に柔軟にシフトさせることが可能でございます。常に新しい技術、そういった教育を行っていることで、スピードを持った柔軟な対応が可能になっていると考えています。

このシフトをバックアップする体制としまして、各種研修、コロナ禍でオンラインによる教育、研修、勉強会が活発化できたことも、このシェアの変化に影響しているのではないかと考えております。当社としまして技術者のキャリアアップについては積極的に支援してまいり所存です。

以上でございます。

司会 [Q]：ありがとうございました。それでは、次の質問に移りたいと思います。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



技術者への教育について、どのようにされているかご教示くださいませ。

今村 [A]：では、先ほどちょっと説明した資料の 13 ページをご覧ください。こちらは今年、22 年度の個別の施策になりますが、その中の教育についてご説明させていただきます。

当社は社員教育でこの 50 年を拡大、成長してきたと言っても過言でないと考えています。常にその地域の、その前には常に市場の変化を見て、本社部門が新しい技術、新しい分野の教育を組み立てる。さらに地域地域で必要となる技術については、地域の拠点で先輩が後輩に教える文化というもの根付いております。

これが創業以来の当社の強みでもございます。技術力さらには人間力、そして、そういったつながりからチーム力を上げまして、教育に力を入れております。エンジニア個人のスキル、能力を上げるとともに、これを会社としてデータベース化します。

そして、その一人一人の技術者がこういう仕事に就きたいとか、こういうふうにスキルアップしたい、そのギャップです。もう既に先輩がやりたい仕事をやってるとする。今、自分の経験や知識がここだとなりますよね。そうしたときに、やりたい仕事をやっている先輩が持っている知識や経験と、自分の知識や経験などを見える化するようにしています。

見える化することでこのギャップが分かって、どんな知識を得ればいいのか、どんな経験を積みばいいのか、これを見える化して、それを 1 年を通して会社、本社部門で企画している研修、地域地域でやっている研修や勉強会に参加して、自分の能力を上げて、そこに近づけていく。これは当社の中ではエンジニアサポートシステムと位置づけて、データベースを活用しながらスキルアップをしていく。

これを、先輩社員がアドバイスする制度もつくっております。キャリア支援を行うキャリアサポーターという先輩を位置づけまして、その先輩が例えば、君、こういうところが足りないからこういう勉強していこうか、こういうことを経験していこうか、そういったことをフォローしていく。一人一人の長期的なキャリア形成に対する支援を行っております。これが当社の教育の強みにもなっております。

以上でございます。

司会 [Q]：ありがとうございました。次の質問です。

働き方改革の事業に対する影響についてご教示ください。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



今村 [A]：働き方改革が当社事業にどういう影響を及ぼすかということですかね。ありがとうございます。

資料の 6 ページをご覧ください。こちらに当社の業績に大きく影響する KPI ということで、先ほど説明させていただきました。働き方改革の中で技術者が働く時間、こちらで言いますと工数になります、この工数に対しまして働き方改革の影響が正直、ありました。

2019 年がよく過重労働とか言われた年だったと思うんですけれども、この頃が工数については底かなと思っております。2020 年はコロナの関係で一時的な減少というふうに、これは分析しております。

2021 年は 19 年の水準まで、もう既に回復をしてきております。この左側、左下のグラフになりますが、19 年が 165.3 時間、20 年が 162.3 時間。これはコロナがガッと流行ったタイミングで、まだ在宅勤務の環境ができてないタイミングだったので、お客様からちょっと休んでくださいと言われることが多かったです。

ただ、世の中もこのようにネットワークも発展し、在宅勤務、当社の場合は製造というよりは設計開発部門が多いものですので、家での在宅勤務ができる環境を、お客様、当社と連携しまして構築をいたしました。そのおかげで在宅での設計業務、また労務管理も行うようにできましたので、残業も可能となり、工数としては 2021 年に回復してきております。

ただ、先ほど 19 年が底だと申しましたが、残業というのはこれからの時代、そう増えていくとは思っておりません。2019 年ぐらいを一つのベースとして続いていくんじゃないかと考えておりまして、その分、当社としましては技術者の付加価値を上げて、お客様は、工数や残業は増やさないんだけれども開発設計テーマは全く減ってません。

逆に、カーボンニュートラルや新しい EV 化、そういった新しい開発テーマがたくさんございますので、逆に人数でいい技術者をご提供する、増員を提案させていただきながら、事業を推進していく。こういったことで工数減のところは担保していけるような提案を進めていっております。

よって、働き方改革に対しては、工数は減っても人数のところ、より良い技術者で業績を担保していくと、そういった方針でございます。

以上でございます。

司会 [Q]：ありがとうございました。次の質問になります。

アルプスケアハートの計画についてご教示ください。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



今村 [A]：ありがとうございます。

資料の 11 ページをご覧くださいと思います。当社は技術者派遣でオーガニックな成長の部分を推進してきましたが、そこで人材育成だとか、あと人材サービスというところについてはノウハウがございます。

そういった中、2021 年 7 月に設立しましたアルプスケアハートは、その年の 10 月 1 日に相模原市の橋本エリアで無事に事業を開始することができました。7 月に設立し、許可申請を無事取ることができまして、10 月 1 日に事業を開始することができました。

さらに、年末、12 月には同じ相模原市になりますが、橋本エリアではなくて淵野辺エリアというところで、2 店目となる事業所も開設することができました。なかなかヘルパー人材の人材確保というところは苦戦をしておりますが、こちらでもアルプス技研で培った採用ノウハウ、また、リファラル採用を活用して、ヘルパーの皆さんに入社をしていただきまして順調に進めております。

現在は、さらに 3 店舗目となる事業所としまして、横浜市をターゲットに今現在、進めております。利用者数も昨年 10 月スタート以来、順調に拡大してきておりまして、内製化したシステム活用による効率化も併せて、当社のソフト部隊が中におりまして、そこで介護のいろんな処理をするシステムを内製化しております。IT を活用して効率化を図り、ケアハートの成長と計画達成に向けて事業を推進している状況でございます。

新しい事業ですので、また引き続き応援のほうをよろしくお願いいたします。

以上でございます。

司会 [Q]：ありがとうございました。では、最後の質問です。

社員定着率向上の取り組みについてご教示下さい。

今村 [A]：ありがとうございます。

それでは、資料の 14 ページをご覧くださいと思います。先ほど説明の中でも、次世代を創る施策ということで、改めてエンゲージメント向上の取り組みということを大きく方針に掲げまして、これを今年推進しております。

当然のことですが、社員の働きがいを高めて、会社と社員だけではなくて、社員と社員の信頼関係を深めて、この図の右側の相互信頼関係というところになります。会社だけに信頼関係を出せてことではなくて、社員同士もつながりをさらに強化して、持続的な成長に直結するんだということ、このエンゲージメントを高めることが成長していくんだってということを、当社の中にエ

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



ンプロイサポート課という部署を設置しておりまして、ここを中心にエンゲージメントを高める取り組みを進めてきております。

詳細は先ほど言ったとおりですが、エンジニアが自分自身のキャリアの希望をデータベースに登録して、これを見える化して先輩がフォローしていったり、例えば次のお客様先に行くためにどういったフォローが必要かということも見える化して、そこに対して、それを実現することで信頼関係もさらに増すと考えています。

そのほかにも全社横断型の各種イベント、普段はお客様先に行って会えませんので、会社が主催となった各種イベントも数多く行っております。先輩が後輩を教える文化も活用しながら、例えば各営業所ごとにロボットを作って、その作ったロボットで、全国のアプスロボットコンテストを行ってありましたり、あとはフットサル大会を。北海道から九州、沖縄まで事業所ありますので、地域で分けて予選会をやったり、最後はその地域で勝ち残ったところが、本社があります横浜に集合してもらって全国大会をやったり、こういった横のつながりも行っております。

ただ、今、コロナのタイミングですので、本当にその地域地域でやっている活動内容の発表とか、本当に一堂に会することができないので、そこで工夫しながら、ロボットコンテストもできないので、各拠点でこんな構想をしていますとか、こんなロボット作っていますと発表しています。

面白いのは、会社が新しい事業領域に出ていった農業に対してレギュレーションを作りまして、その農業用ロボットを開発してみようというロボットコンテストをやったり、その企画案のプレゼン进行评估したり、そんなことで競い合ったりしながら、社員と社員のつながりを、会社がその場面を与えてエンゲージメントを高めるというような取り組みを行っています。

あと、新しくエンプロイサポート課からの提案で、社員同士、ありがとうという言葉は何回言われたか、どんな場面で言われたか、そんなものを集めてみようという活動をしています。

そういった、社員同士が会社目に向けて。これが、だったらリファラル採用に協力しよう。退職しそうなメンバーがいたら、まだアプス技研にいることのメリット、魅力、そういった話をし、もっとアプス技研で成長していこうという気になってもらう。そんな活動を積極的にやって、社員の定着率の向上を図っていこう。これを、わざとどんな活動でどんな結果が出たかということも見える化していく。こういうことをして、進めて、エンゲージメントを高めていきたいと考えております。

以上でございます。

司会 [M]：ありがとうございました。ご質問は以上になります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



それでは、終了予定時間がまいりましたので、これをもって会社説明会を終了させていただきます。なお、時間内にご回答できなかった方がいらっしゃいますけれども、個別に回答させていただきますので、ご了承ください。

今村様、ご説明ありがとうございました。

今村 [M]：今日は、ご清聴ありがとうございました。

司会 [M]：アナリストの皆様、本日はお忙しい中ご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com